

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 15し尿処理費

◎収集の経費

し尿収集事業 【 資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち
生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 汲取りし尿の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【事業の内容】

- (1) し尿収集事業
 - ・し尿の収集運搬及び処理手数料の徴収事務を委託した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

し尿収集運搬委託区域の拡大(3-3-3-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,103	30,879	27,959		2,920

主な支出内訳

- ・し尿収集事業
 - し尿処理手数料徴収用消耗品費 125
 - し尿収集運搬業務委託料 27,502
 - し尿処理手数料徴収業務委託料 332

し尿等の処理量

(単位:kl)

年度	区分	し 尿		浄化槽汚泥	合計
		直営	委託		
20		0	1,658	4,009	5,667
19		0	1,773	4,436	6,209
18		0	2,007	5,290	7,297

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-07 し尿収集事業 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1174	し尿収集事業						
主管課	資源循環課			関連課	深沢クリーンセンター				
分野名	生活環境								
目標 (目標値)	減少していく、し尿収集の効率化								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度		備 考			
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人		・各年4月1日			
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
運営資源 状 況	決算値	27,959千円	29,573千円	32,376千円					
	(国・県)								
	(負担金等)	10,573千円	11,436千円	17,499千円					
	(一般財源)	17,386千円	18,137千円	14,877千円					
	人員配置数	1.0人	1.2人	1.0人					
	人件費	9,387千円	11,580千円	9,624千円					
事務事業 運営経費	協働の パートナー								
	総事業費	37,346千円	41,153千円	42,000千円					
	市民1人当 りの経費	212円	234円	240円					
	対象者1人 当りの経費	47,035円 (対象者794人)	45,776円 (対象者899人)	40,423円 (対象者1039人)					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由				妥当性※	※妥当性の評価		
							① 必要性なし		
							② 民間		
							③ 国・県		
							④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)		
処理手数料の口座振替 世帯割合	△	目標値	20%	21%	22%	22%	26%		
		実績値	18%	18%					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している									
ベンチマーク(平成19年度県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市
直営作業員	75人	58人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人
直営収集量	10,187kl	7,708kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	431kl
委託収集量	0kl	0kl	3,833kl	4,696kl	1,773kl	3,703kl	3,362kl	2,932kl	0kl
団体名	相模原市	三浦市	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	綾瀬市
直営作業員	19人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	5人	5人
直営収集量	2,504kl	0kl	0kl	0kl	0kl	0kl	988kl	1,678kl	1,879kl
委託収集量	2,964kl	6,862kl	1,958kl	2,355kl	2,560kl	1,900kl	0kl	0kl	0kl

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) し尿処理手数料の納付方法が、口座振替、納入通知書の郵送及び民間委託による徴収員の集金の3通りがある中で、集金世帯が多くを占めているため、口座振替への移行を進める必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) し尿処理手数料の納付方法が7割以上を占める集金世帯に対して、処理手数料の安定した収納を図るため、口座振替による納付を進めたところ、集金世帯が32世帯減少した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 集金による処理手数料納付世帯が前年に比べ減少したが、さらに集金から口座振替への移行を進める。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 処理手数料の納付方法について、今後も集金から口座振替の移行を働きかけていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	対象世帯数の減少が続いているが、民間委託による集金世帯数を口座振替に移行するよう効率的な集金体制の確保を図る。		
担当課長氏名:	資源循環課長 相澤 達彦		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	公共下水道の普及によりし尿収集世帯が減少していく中で、対象世帯の減少に応じた効率的な集金体制の整備を図ります。		
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋